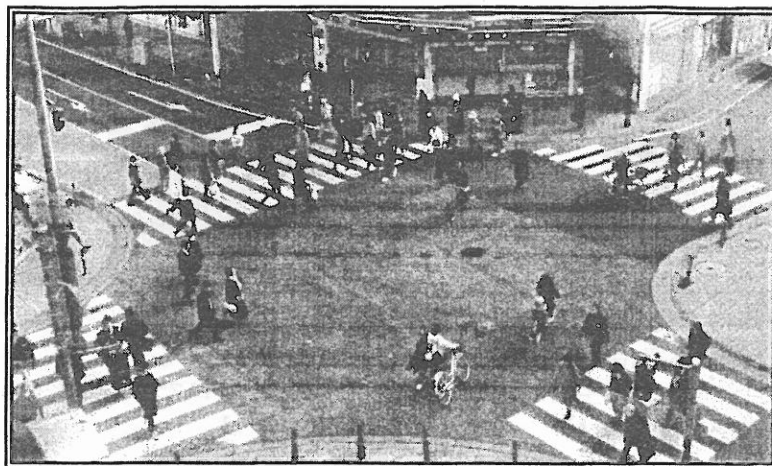


二酸化炭素削減部会

地球温暖化の主な原因である二酸化炭素の削減のための活動を行っています。

JR 逗子駅前交差点の信号が変りました



(交差点を横断する歩行者の写真)

JR 逗子駅周辺の交通渋滞解消と歩行者の安全については逗子市が長年にわたり取り組んで来ましたが、今回逗子警察署の実施計画が実を結び信号の変更が実現し、みずほ銀行前の横断歩道の移設に続いての今回の信号の変更で、歩行者の安全と車両の渋滞解消が進みました。

また、二酸化炭素削減部会では度たびの交通調査を通じて多くの資料を提供しました。

市民の皆さんは歩行者と車両や自転車を運転する立場から、信号を正しく守り交通事故の防止にご協力下さい。

逗子警察署は引き続き逗子市内の各所の信号の改善に取り組む方針とのことです。

※ご意見等がありましたら下記まで

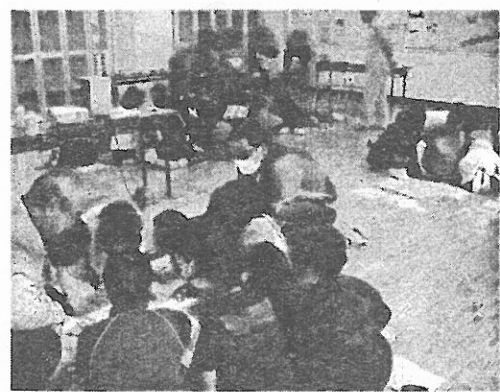
二酸化炭素削減部会会長 石井 (電話 046-871-2433)

一 沼間小学校で省エネの出前授業

昨年10月28日と11月12日に、沼間小学校4年生3クラスの生徒さんたちに出前授業「地球温暖化と私たちに出来るエコ」を部会員9名で行いました。1日目は「地球温暖化と自分たちが出来る省エネ」を、2日目は「自然エネルギー」をテーマに、実験やゲームを通じて「感じ」「気づいてもらう」ことに主眼をおいて行いました。



(実験 電気を起こしてみよう)



(ゲーム 二つの家庭の違い探しから省エネの方法を知る)

子どもたちも自分たちで電気を起こしてみても電気を起こす大変さとその大切さの気づいてくれました。1日目と2日目の間には「自分の省エネ目標」を立て自宅で頑張ってくれました。子どもたちからは、「省エネを続けると楽しくなる」「省エネがくせになる」などの多くの意見が寄せられました。今後、地球の温暖化が進むと最もその影響を受けるのも、エコ社会で生きるのも子どもたちです。それだけに、子どもたちが環境に関心を持って成長して欲しいことを願い、今後とも多くの学校での環境出前授業に参画していく予定です。

ずしし かんきょうかいぎ ニュース

第22号 2010年3月

事務局 逗子市環境都市部環境管理課
逗子市逗子5-2-16
Tel 046-873-1111

発行 ずしし環境会議 (エコリーダーズ会議)

かんきょう連続講演会を開催します

第1回

「トコロジストになろう!

～自然観察会で育む地域の自然～

日時: 3月6日(土) 13:30~15:30

場所: 逗子市役所5階会議室

講師: 神奈川大学理学部特任教授

浜口 哲一 氏

第2回

「地球環境を守る国際的な取り組み

COP15の参加報告」

日時: 3月7日(日) 14:00~16:00

場所: 逗子市役所5階会議室

講師: 財団法人地球環境戦略研究機関

気候政策プロジェクトサブマネージャー

田村 堅太郎 氏

第3回

「生ごみは宝だ

～燃やさない処理方法を学ぼう～

日時: 3月13日(土) 14:00~16:00

場所: 逗子市役所5階会議室

講師: 東京農工大学名誉教授

NPO法人たい肥化協会理事長

瀬戸 昌之 氏

「かんきょう連続講演会」へ参加される方は、当日講演会場へ直接お越しください。(先着 100名)

かんきょう連続講演会は連続参加の必要はありません。講演会当日は、車での来場はご遠慮ください。

※車でなければ来場できない方や手話通訳を希望する方は各回開催日の5日前までに環境管理課へご相談ください。

問合せ: 逗子市環境都市部環境管理課

TEL: 046-873-1111 (内線 456、457)

FAX: 046-873-4520

E-mail: kankyo@city.zushi.kanagawa.jp

ずしし環境会議(エコリーダーズ会議)を紹介します

■ずしし環境会議とは

逗子市環境基本計画及び行動等指針(ローカルアジェンダ21)にそって、平成13年3月31日にずしし環境会議(エコリーダーズ会議)が発足しました。市の支援のもと、市民や事業者が主体となって環境の保全・創造に向け、様々な取組み・活動を行っています。

■どんな活動をしているの?

ずしし環境会議は、「まちなみと緑の創造部会」「ごみ問題部会」「二酸化炭素削減部会」の3部会にわかれ、定例会(月1回)やイベント、調査などの活動を行っています。また、環境月間(6月)、市民まつりなどで活動報告などの展示を行っています。

主な活動
(まちなみと緑の創造部会)
・田越川さかな観察会 など

(ごみ問題部会)
・ごみの減量化資源化の啓発 など

(二酸化炭素削減部会)
・市立小中学校への出前授業 など



■入会申込み・お問合せは、事務局まで

事務局

逗子市環境都市部環境管理課 Tel 046-873-1111 内線 456、457

まちなみと緑の創造部会

当部会では、「逗子の自然環境を次世代にどのように伝えるか」をテーマとして活動を続けています。

地域の「観察会」を企画・運営しませんか？



↑田越川さかな観察会を企画・運営する部会員



↑H21年8月の田越川さかな観察会の様子

「環境が大切なのはわかるけど、地域でどんな活動をする必要があるのだろう？」
 「最近の子どもたちは、自然とのかかわりが少なくなっていて、なんとなく心配だ」
 「最近“生物多様性”という言葉が耳にするけど、逗子の生物多様性ってどうなっているだろう？」

私たちは、こんな意識をもちながら田越川さかな観察会を企画・運営してきました。はじめて自分で魚を捕った子どもの笑顔、「身近なところにこんなに生き物がいるんですね！」と驚かれる表情を見る度に、観察会を実施する意義を感じています。また、小学生の時から参加してくれていた子が、中学生になった今、観察会の運営や水槽展示などを手伝ってくれるようになったことや、学校の総合学習の依頼を頂くようになったことも、活動のモチベーションに繋がっています。

まちなみと緑の創造部会に入会を希望される方は、逗子市環境管理課までご連絡下さい。

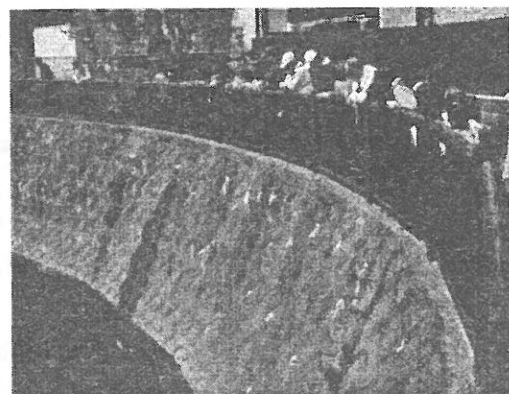
「トコロジスト」になろう！

かんきょう連続講演会 日時：3月6日 13:30~15:30

田越川さかな観察会を運営する私たちは、自然科学の専門家ではありません。しかし、自分たちのくらす地域に強く関心を持ち、地域のことは幅広く知りたいと思っています。今回の講演会に来て頂く浜口哲一さんは、そんな地域に根ざした視点を持つ人のことを「トコロジスト」（地域の専門家）と名づけて普及していらっしゃいます。

また、長年「自然観察会」の普及と、手法開発にもご尽力された方です。

浜口さんには、地域における「トコロジスト」や「自然観察会」の意義とはなにか？どんな活動や工夫、心がけが重要なのか？そんなお話を頂き、私たちの今後の活動の方向性を皆さんと一緒に考えてみたいと思っています。ぜひ、ご参加下さい。



2004-5年、2007年には田越川にすむコイの数を数えました。

ごみ問題部会

ごみ問題部会のごみの減量化・資源化をテーマに活動しています。

3月13日(土)のかんきょう連続講演会 「生ごみは宝だ～燃やさない処理方法を学ぼう～」にぜひご参加を！！

(講師の紹介) 瀬戸昌之さん

東京農工大学名誉教授(専門は環境科学、生態系微生物学)
 著書：持続社会への環境論、環境微生物学入門など多数
 NPO有機農産物普及・堆肥化推進協会(略称たい肥化協会)理事長
 誰にでもわかる生ごみたい肥化普及の第一人者



瀬戸さんが理事長の「NPO生ごみたい肥化協会」は、1年に1度東京で「生ごみリサイクル交流会、生ごみは宝だ！」を主催。素晴らしい数々の事例発表のあるこの会は、全国から自治体職員や市民が500人も集まります。逗子市では、現在策定中のごみ処理基本計画(案)で、いよいよ「生ごみ」「植木ごみ」を焼却しないで、資源化を図るとする基本方針を打ち出すこととなります！**決め手は、生ごみ！ 市民の出番です！！**

瀬戸先生もお勧め！生ごみ処理器「バクテリア de キエーロ」の紹介

※処理器と黒土セットが逗子市の助成金の対象になるので 6000円で購入可

適度に太陽が当たる1㎡位の地面に、高さ30cm位の板で四角い木枠を作り、設置。後ろの板は少し高くし、雨よけのポリの波板を傾斜させる。1週間位で分解され、ムシやニオイの心配がない。「障がいを持っている私でも台所でポットに3日ほど生ごみを貯めておけるのでとても便利です。貯めた生ごみをスコップで順番に入れ黒土をかぶせます。肉や魚の分解は特に早く、購入後の維持費(電気代など)がかからないのもいいですね。」(ごみ問題部会員 Y)



報告

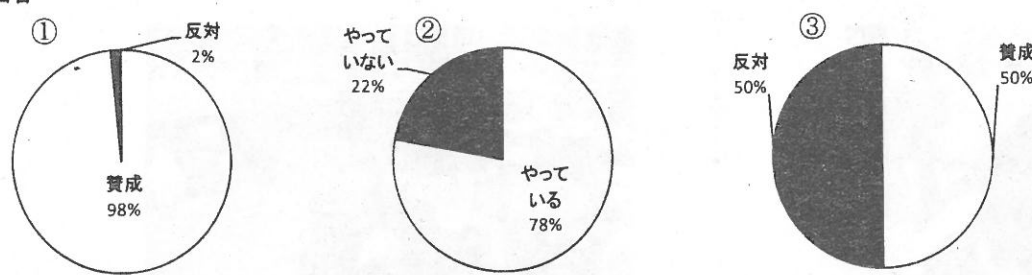
— 生ごみ減量に対する市民の皆さんの意識は？

昨年10月の市民まつりで行ったアンケート調査の結果 —

質問

- 燃やすごみの中の生ごみの占める割合は半分近くあります。生ごみを分別して資源化したいと思いますが、生ごみの分別収集することに賛成ですか、反対ですか。
- 生ごみの量を減らすって早い方法は、90%近く含まれている水分を、しっかりしぼって、できるだけ減らすことです。生ごみの水切りをしっかりとやっていますか、いませんか。
- 燃やすごみを減らす方法として、燃やすごみの有料化がいられています。ごみの有料化に賛成ですか、反対ですか。

回答

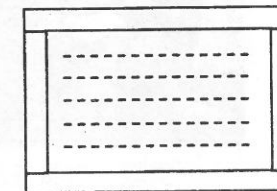


[感想]

- については、これからの行政がごみの政策を決めるのに大いに参考になると思います。
- については、8割近くの方がしっかりと水切りをしているとは、逗子市民の意識の高さを誇りに思いました。
- については、ごみを減らせば減らしただけ、お金が安くなるのですから合理的とは思いますが、有料化によって浮いた税金をどのように市民に還元するかによって賛否がわかれるのだと思います。

ごみ減量知恵袋 Part5

大切にしていた布類でも不要になってそろそろ処分を考えている方、ちょっと待って！
リフォームして生活を楽しくませんか！
 バスタオル、タオルケット等は意外に丈夫なものです。二重にして、フチをかがればバスマットに変身します。3cmぐらいの大きい目のぞうきん縫いをして落ち着かせるとさらに、丈夫になります。フチを別布(ポリエステルが乾きが早い)で、包めば上等なマットが出来上がりです。



バスマット

リサイクル広場ずし 日時:毎月最終 金・土曜日 10:30~16:00 場所:逗子市役所脇

ごみになってしまうものからまだ利用できるものを回収して、再資源化します。

品目:ビン、缶、乾電池、ガラス、陶磁器、家庭金物(傘の骨も)、白色トレイ、ペットボトルのフタ、廃食油、アルミ付き紙パック、CD・DVD、ビデオテープ、割り箸

同時に開かれるもったいない市では、タンスの奥に眠っていたり、捨ててしまうには惜しい**食器、衣類、雑貨**を持ち寄ってリユースします。

主催:逗子ゼロ・ウェイストの会 後援:逗子市 (ずし環境会議ごみ問題部会も積極的に応援しています。)